

Yamato Welfare Foundation
ヤマト福祉財団

ヤマトグループ賛助会員向け
ニュース(季刊)
発行部数13万部・非売品

2021.4.20 Spring

No.

70

NEWS



巻頭企画 山内理事長とヤマト労連の森下会長にインタビュー

**「組合と会社の両輪」で
ヤマト福祉財団の活動が
支えられています**



小倉昌男氏の 言葉に思う

Profile

1979年3月日本社会事業大学社会学部児童福祉学科卒業。1981年4月宮崎障害者自立生活センター設立、事務局長に就任。1984年4月ワークホームオリーブハウス設立、代表に就任。2000年8月社会福祉法人オリーブの樹設立 理事長に就任。現在、NPO法人生活サポート千葉副理事長、NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会副理事長、NPO法人ちばAネット理事長を務める。

私の運営するオリーブハウスは35年前に手作りクッキーの製造販売を開始しました。当時は作っても売り場が無く街頭での販売を行っていました。やがてそこで知り合ったお客さんや口伝えに知った方々から出店の要請が入るようになってきました。休日、盆暮れ、早朝、夜間、県外等、日や時間、場所に関わらず販売に向きました。中には明らかに採算の取れない所もありましたが、オリーブハウスが出店することでも少しでもそのイベントが盛り上がり、クッキーを買って喜んでいただければとの思いで出店の場を拡げました。

20数年前にヤマト福祉財団の創始者である小倉昌男氏より「良いサービスを提供すれば、利益は後からついて来る」との言葉をお聞きしましたが、オリーブハウスではそれは「要請があればいつでもどこでも売りに行く」という出店販売であると思われ、一層それに力を注ぎました。その結果、年間約600か所の販売場所を獲得することになりました。販売こそが、僅か5名でスタートしたオリーブハウスを200名余りの障害者に利用してもらえる「社会福祉法人オリーブの樹」に発展させる原動力となりました。

しかしながら今回のコロナ禍は、この出店販売活動を一瞬の内に全て崩壊させました。昨年の3月以降あらゆるイベント等は中止となり、そこでの収入はほぼ無くなることとなりました。暗澹たる思いの中でふと小倉氏の先の言葉を思い出しました。「新たな良いサービスを創れば良いのだ」と思い、外出自粛により買い物に行けずにいる人達にクッキーを直接宅配する「おやつお届け便」とネットで買えるオンラインショップを始めました。これは今までの出店販売と比べると広報のポスティング、受注、配達、発送と手間の掛かることになりましたが、私から「脱イベント販売宣言」を発し、法人全体で取り組んだ結果、3月〜12月の売上は前年並みとなりました。

まさに小倉氏の言葉の意義を実感することになりました。

※障がいの表記について：本コラムは著者の表記を尊重しています

CONTENTS

表紙写真

ヤマトグループ企業労働組合連合会森下会長(左)と、ヤマト福祉財団山内理事長(右)にそれぞれお話を伺いました。

巻頭特集 山内理事長とヤマト労連の森下会長にインタビュー
「組合と会社の両輪」で
ヤマト福祉財団の活動が
支えられています

03

2021年度ヤマト福祉財団助成金
決定一覧

12

利用者さんの給料増額に向かって
夢へのかけ橋実践塾活動報告

13

2021年度ヤマト福祉財団助成金
障がい者給料増額支援助成金

10

2020年度 障がい者の働く場
パワーアップフォーラム 福岡会場編

14



日本障害フォーラムが
推進するイエローリボン
運動に賛同しています。

「組合と会社の両輪」で ヤマト福祉財団の活動が 支えられています

山内理事長とヤマト労連の森下会長にインタビュー



「昨年は、ヤマトグループ企業労働組合連合会から、夏のカンパとして72,755,000円の寄付をヤマト福祉財団にお贈りしました」
ヤマトグループ企業労働組合連合会 森下会長



「昨年度、約6,500名の方が新たにヤマト福祉財団の賛助会員になっていただき、計77,674名より心のこもったご寄付をいただきました」
ヤマト福祉財団 山内理事長

賛助会費、夏のカンパ、法人会費、配当金が
ヤマト福祉財団の活動を支えています

障がいのある方の「自立」と「社会参加」の支援

ヤマト福祉財団の活動

助成事業／研修・育成事業／表彰事業／広報・啓発事業 など

活動運営費

財団賛助会員の
賛助会費

労働組合の
夏のカンパ金

ヤマトホールディングスの
法人会費

株式の
配当金

基本財産

(ヤマトホールディングス
株式が100%)

小倉初代理事長が財団設立に
私財を投じたヤマトの株

320万株

+

ヤマトグループの拠出金に
よる株

35万4,500株

「障がいのある方の自立と幸せを実現するお手伝いを」。初代理事長である小倉昌男氏の意志を受け継ぐヤマト福祉財団の活動は、労働組合と会社の両輪により支えられています。
今回の巻頭特集は、山内理事長とヤマト企業労働組合連合会の森下会長に、それぞれの思いをお聞きするとともに、ヤマト福祉財団の活動財源、障がい者の働く実態についても説明します。

「障がいのある方の 自立と幸せのために」 一人ひとりにできることが 日々の仕事にきっとあるはずです

ヤマトグループは、2019年に100周年を迎え、いまは次の100年に向かって新たなスタートを踏み出しています。そこで改めて噛み締めているのは、経営理念の中の企業姿勢にある「地域社会から信頼される企業」であり続けるという強い思いです。そこには「ヤマトグループは、地域社会から信頼される事業活動を行うとともに、豊かな地域づくりに貢献します。特に、障がいのある方を含む社会的弱者の自立支援を積極的に行います」と明示されています。それは、100年間変わることなく貫き通して来た姿であり、これからもずっと変わる

「地域社会と障がいのある方のために」
それはこれからも変わることのない
ヤマトグループ全社員の思い

山内理事長にインタビュー



ことのない確固とした信念です。

みなさんは、日々の仕事を通して、お客さまや地域の方々と触れ合いながら、社会的弱者のために、なにができるかを考え、いろいろな実践されていると思います。でもそれだけでは満たせない、手の届かない実践的な活動を、私たちヤマト福祉財団が代行に行わせていただいています。

私たちが実現したいのは、障がいのある方が生きがいを持つて仕事をし、経済的にも自立した生活を送ることで、幸せを感じられるようになっていく、そんな社会です。そのために、福祉施設が利用者さんの新たな仕事を創出し、給料増額を目指す方法を学べるパワーアップフォーラムや夢へのかけ橋実践塾を開催。新事業などを立ち上げるため、また、環境や仕組みをつ

くるための助成事業も幅広く展開し、さらに農福連携などを推進する団体などへの支援も行っています。

「これではじめるよ」と
小倉昌男初代理事長が机の上に
ポンと置いた紙袋の中身とは

みなさんもご存じのように、ヤマト福祉財団は、小倉昌男初代理事長が私財を投じて設立しました。

財団設立の準備を進めていたある日、事務所を訪れた小倉さんは「これではじめるよ」と言って、机の上に二つの紙袋を無造作に置いて行かれたそうです。元常務理事の高田さんが、中を見ると、ヤマト運輸の株券が一袋に1000枚ずつ入っていました。さすがにこれは事務所に置いたままにはしておけないと、あわてて銀行の貸金庫に預けに走られたと聞いています。

小倉さんは最終的に320万株を拠出され、会社も35万4500株を出資し、ヤマト福祉財団の基本財産となっています。これは財団が活動を継続的に行うために確保しておかなければならない基本財産であり、それがあることにより社会的な信用も維持できます。では、毎年の運営活動費はどうなっているのか。その詳細が左ページに掲載した円グラフです。

ヤマト福祉財団の活動資金を支えるのは、社員からの支援
それが他の財団との大きな違い

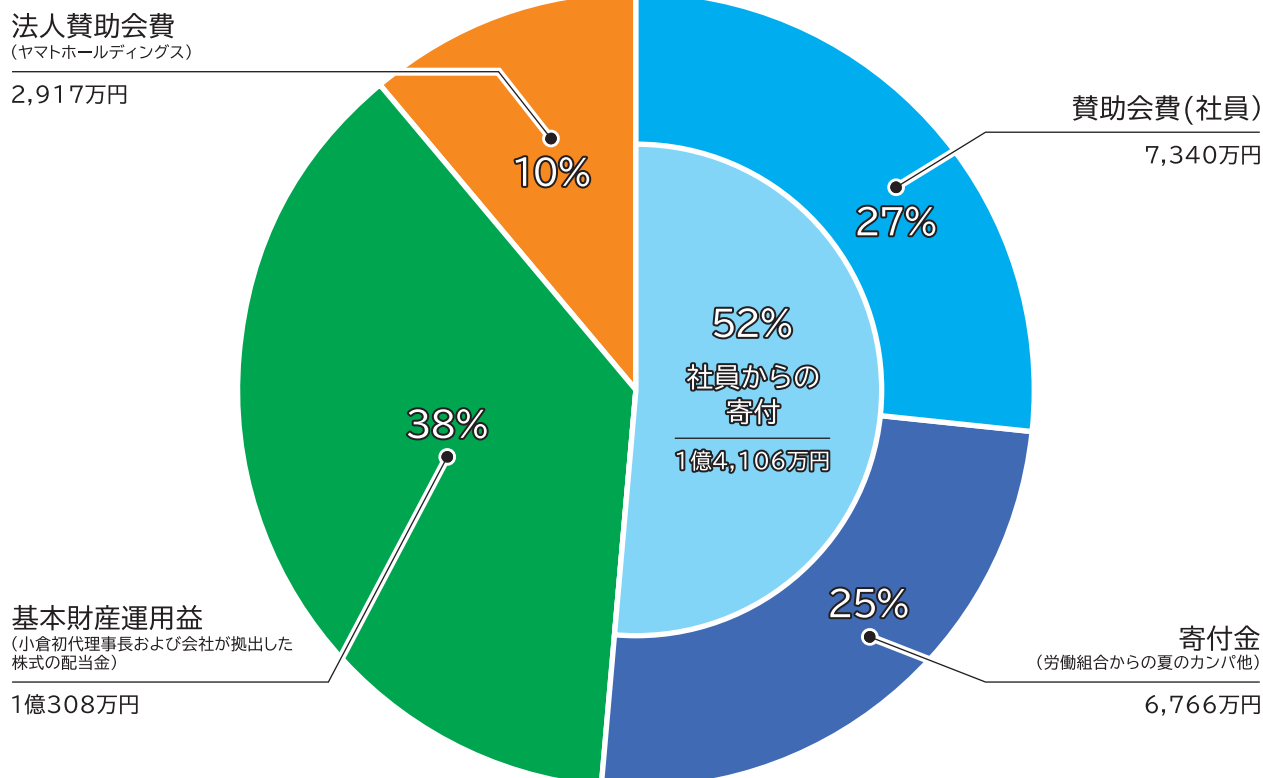
収入の内訳は「社員からの支援、株式配当、ヤマトホールディングス法人会費」の大きく三

賛助会費と労働組合からの夏のカンパが、活動運営費の52%に

社員からの支援が半分を超えるヤマト福祉財団の活動運営資金。一人でも多くの社員に、障がいのある方の自立を支援するその活動をより具体的にお伝えし、深くご理解いただけるように努めていきます。

財団の収入の内訳

2019年度
総額 2億7,332万円



つです。社員からの支援は、賛助会員より夏と冬の2回に500円ずついただいている会費と、労働組合からいただいている夏のカンパで、これが全体の52%を占めています。

注目いただきたいのは、世の中の多くの財団が、会社などからの支援をもとに活動しているのに対し、ヤマト福祉財団は「社員からの寄付に支えられ、活動を続けている」ということです。これこそ、ヤマト福祉財団と他との決定的な違いだと思います。

賛助会費は会員一人ひとりの意志が込められ、また労働組合からの寄付は夏のカンパとして社員のみなさんの思いが込められています。私たちは、それぞれの重みをしっかりと受け止め、大切に活用させていただいています。

もう一つ大きな点は、私たちが行う障がいのある方たちの自立支援を「労働組合と会社が両輪となって支えてくれている」ことです。これこそヤマト福祉財団の一番の特徴と言えます。

**より意義ある活動を目指し
もっと身近に感じられる
みなさんの誇りとなれる存在へ**

ヤマトグループは「Oneヤマト」として、新たな一歩を踏み出します。それを具体的に示す中期経営計画「Oneヤマト2023」には、サステイナブル経営という大きな柱があり、そこには環境問題だけではなく、福祉もSDGsも入っています。もともと世の中に役に立つ会社へ、もっと社会に信頼される会社へ。私たちヤマト福祉財団も、Oneヤマトの一員としてなができるかを考え、実践してまいります。

現在、国民の14人に1人がなんらかの障がい

があるといわれています。そのだれもが、同じように幸せに暮らしていける世の中を築いてほしいと、小倉さんは我々に未来を託しました。でもそのバトンを受け取ったのは、ヤマト福祉財団だけではありません。社員一人ひとりの手に受け渡されているのです。その自覚を持つことで、日々の仕事の中に、ヤマトの一員としてできることがいろいろと見えてくると思います。

たとえば、みなさんのセンターは、どれだけバリアフリーが行き届いていますか。

このドアでは車椅子が入りにくからレイアウトを変えた方が良くはないか。この通路や階段には点字ブロックが必要だと見直していく。また、担当エリアの配達を行っていく中でも、耳の聞こえない方、目の見えない方のお宅の情報を共有し、みんなでサポートするなど、仕事を通してさまざまなことができると思います。

そこから生まれた「もっと福祉の現場に直結した支援を」というみなさんの気持ちを、私たちが福祉施設や障がいのある方たちの元に幅広く実践していきます。この財団の取り組みをみなさんに伝え、広めていくことも、私たちの大切な仕事です。

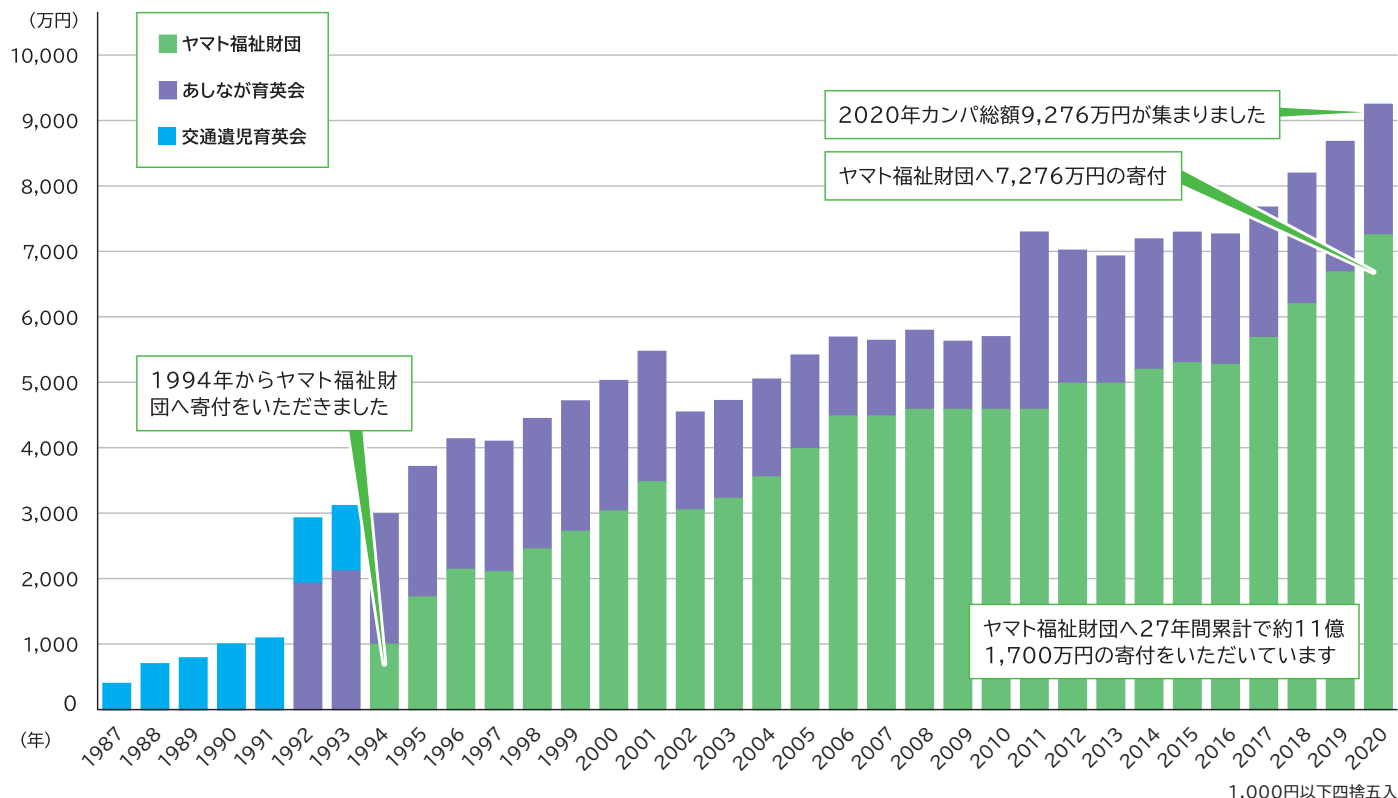
そのためには社員のみなさんが、財団が行う障がいのある方への支援活動に参加いただける機会をもっと設けたい。今後は、みなさん自身が企画して動き出せるように、労働組合との連携をさらに深め、進めていきたいと思っています。

大切なのは、みなさんにもっと関心を持ってもらい、ヤマト福祉財団がより身近な存在になっていくこと。そして、みなさんの誇りとなる、意義ある活動を進めていくことだと考えます。ぜひこれからも、小倉さんが目指した世の中を一緒に築いていきましょう。

夏のカンパ

毎年6～7月にかけて行われるヤマト労連のカンパニア活動。1987年から昨年まで34年間で組合員のみなさまから総額17億円が集められました。

夏のカンパ累計額



森下会長にインタビュー

ヤマト福祉財団の誕生の経緯や活動について知ることで

夏のカンパの意義も見えてくる

夏のカンパは、そもそも労働組合の先輩たちが「道路を職場とする我々が、交通遺児のためになにかできることはないか」と1987年にはじめられたもので、以来34年間ずっと続く取り組みです。ヤマト福祉財団には、1993年の財団設立の翌年より27年間で11億円を超える寄付をさせていただいています。このカンパを通して、私たちは「障がいのある方」にも支援することができているのです。

協力してくれる仲間が「せっかく寄付するんだから、いいことに使ってもらいたい」と考えています。だから自分たちの出したカンパがどんな風に役立てられているのか、どれだけ多くの方に喜ばれているのかを知りたいはずですし、それを伝えるのも、カンパをいただく我々の大切な役割だと思っています。

私も入社当時は、なにもわかっていませんでした。それでも先輩や組合役員から、いろいろと教えてもらうことで、「なぜ寄付をしているのか、なにに使われているのか」を初めて知ることができ、以来納得してカンパをできるようになったのです。

いま自分がヤマト労連の会長となり、各組合には「仲間にヤマト福祉財団のことをもっと説明してほしい」とお願いしています。

加盟組合や支部の執行委員長などは、みなさんを代表して福祉施設への助成金贈呈式などに同行させていただいていますので、そこで聞き出したことなども伝えてほしい。そして、

ヤマト福祉財団がどうやって生まれたのか、その歴史や活動を伝えてもらいたいのです。

人に喜ばれることで成長できる
人生を豊かにできる
福祉と私たちの仕事は似ている

私もいくつか福祉の現場を拝見させていただいていますが、「我々の仕事と福祉には、似たところがある」と思っています。

荷物を届けることによってお客さまに喜んでいただく。一回喜ばれるともっと喜ばれたくて、どうしても良いのかと深く考えるようになる。その繰り返しですが、より良い次の仕事へとつながっていきます。

「地域のために、人のために、自分にながでるかを考えて働く」。それが「自分の成長へとつながっていく」。このプロセスがどこか福祉と似ていると思う。これこそが、私たちの仕事の喜びであり、ヤマトグループ社員の誇りだと、私は感じているのです。

日本人は、一つの企業に長く勤めるといって他国と違う独特の働き方をしていますし、私も20歳からずっとこの会社で働いています。その結果、ヤマトグループ社員として「愛社精神」というものが自然に生まれてきました。ヤマトグループの社員たるもの信号を無視しちゃいけない、安全運転をしなくちゃいけない。さらに、制服を着ている以上は、困っている人がいたら手を差し向け、つねに地域に貢献する意識を持って行動するように、とも教えられ、育ってきました。

これを面倒だと感じる人もいるかも知れま



「地域のために、 人のために働く喜び」 私たちヤマトグループの仕事と 福祉の仕事は似ていますね

せんが、同じ仕事をするなら、そういった誇り、やりがいを見つけた方が良くと思うし、それがわからない社員は損をしているとも思います。
「今日も仕事か」と家を出る人と「よし、今日も頑張るぞ」と仕事に行く人。何十年も続けていくと大きな差になってしまいます。

誇りと信念を持って働く、行動する

その大切さを教えたのは

小倉昌男さんだった

私がそう考えるようになったのは、小倉昌男さんの影響が大きい。私は、あれだけの志を持った経営者を見たことがありません。

宅急便を開発し、社会にイノベーションを起こしたこともすごいですが、どんなに忙しくても「なによりお客さまへのサービスが先なんだよ」とストレートに社員に伝え、浸透させて成功に導かれたこと。経営を退いたあとには、私財を投げ打って、障がい者を支援しようと財団を立ち上げられたことも素晴らしい。いくら志があ

っても、ここまで実行できる人はいません。

しかも福祉の世界に経営のコンセプトを持ち込み「障がい者は仕事をしてもらって低賃金で仕方がない」という世の中の間違った観念を壊していきました。そんな小倉昌男さんの志を引き継いでいるのが、ヤマト福祉財団であり、私たちがその支援をしているわけです。

その仕組みがわかってくると「もう少し寄付して役立ててもらおう」という気持ちも湧いてきます。右頁のグラフを見てわかるように、年々カンパの金額が増えているのは、組合全体でそういった理解、意識が深まっている証だと思います。

障がいのある方と携わることで

**普段の生活の中でも自然に
手を差し出すようになる**

いまはコロナ禍で、置き配なども求められています。障がい者から良い仕事をしていないと良い配り方はできません。地面に直に置くのでは

なく、下に何かを敷くべきではないかと言った声や、自然と現場から出てくるのも「人に喜ばれることが自分を成長させる、豊かにしてくれる」と、わかっているからこそ。そんな一人ひとりの社員の成長が、企業の成長へとつながっていくのが一番です。

このように、私たちは仕事を通じて、地域社会や社会的弱者のために貢献をしています。でも私たちにできることは、それだけではないはず。

たとえば、電車で座っていたら、足の悪い人や高齢者が乗車して来た。いつ譲ろうかと迷っている間に、違う人が席を替わってしまった。そんな経験はだれにでもあるでしょう。日本人は、障がいのある方と関わることに、どこか苦手意識を持っている気がします。でも実際に会って交流することで、いろいろなことがわかってくる。障がいはいひとつの個性だと感じるようになる。すると、支援の手も自然に出るようになります。

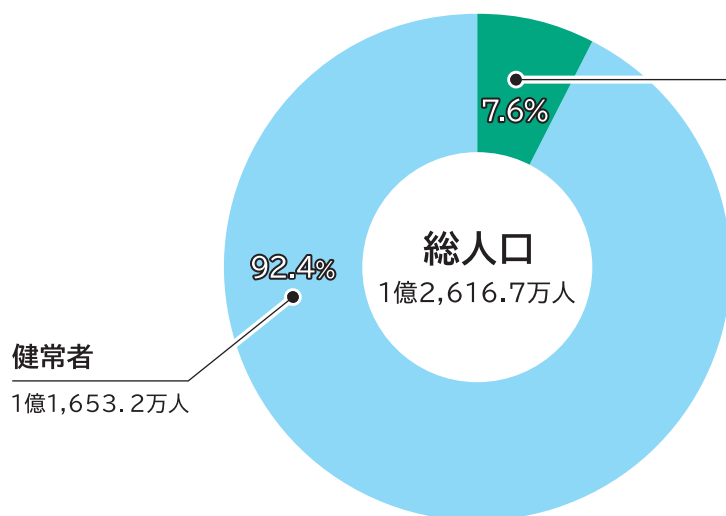
それを当たり前にできるようになるには、もう少し障がいのある方と携わることが必要です。そんな機会をつくること、我々が持っている情報を知らせ、いろいろな気づきを得られるようにしてあげることが、大切なのだと改めて感じています。

「いかに人の役に立てるか、どれだけありがたいと言ってもらえるかで、人の価値は変わっていく」。働くことでそのような価値を見出すことができれば、夏のカンパも賛助会員数も、もっと増えていくでしょう。宅急便を通じて、サービスとか、品質とか、社会貢献を意識して行う。その中に「障がい者の自立支援」というものが、自然に入っている。それこそが「ヤマトグループらしき」のですから。

数字で見る 障がい者の実態

人は自立して生活することで、幸せを感じられる・・・、どれくらいの障がいのある方が働いているのでしょうか。自立するための工賃(給料)はどれくらいなのでしょう。データから障がい者の実態を探ってみます。

障がいのある人の人口比率は？



障がい者

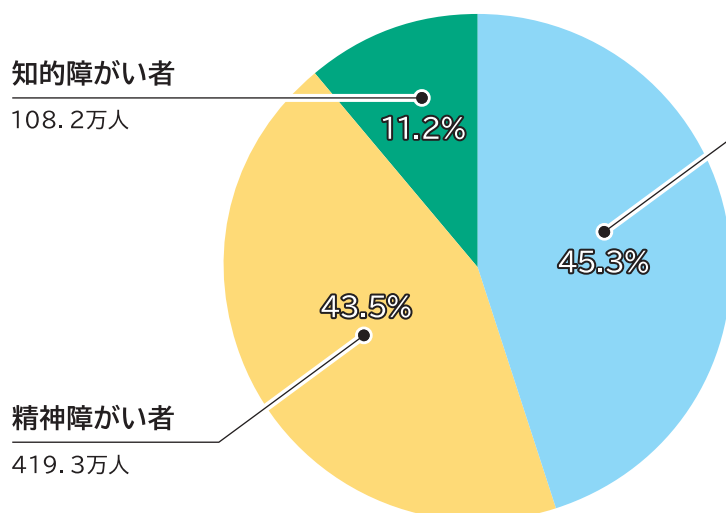
963.5万人

日本の総人口**1億2,616.7万人**に対し
障がい者は**963.5万人**。

国民の**14人**に**1人**が障がい者です。

障がい者数：令和元年(2019)版厚生労働省障がい者白書より
総人口：総務省統計局人口推計(令和元年(2019)年10月概算値)公表

障がい者種別(人数)は？



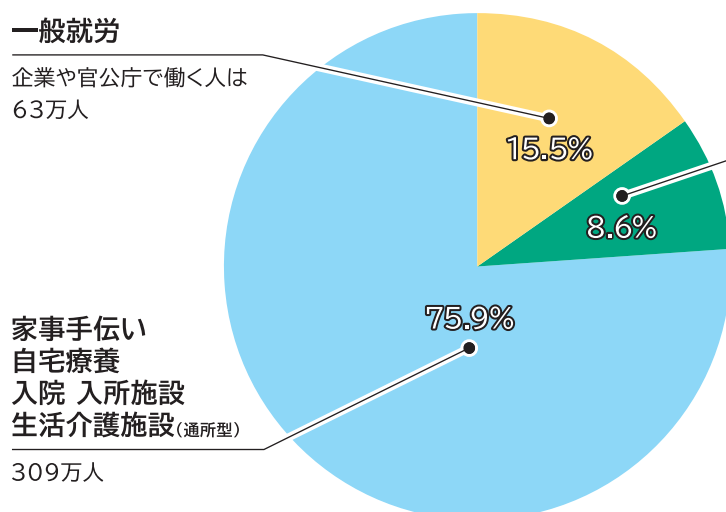
身体障がい者

436万人

障がい者種別とは、障害者基本法で障がい者の定義を「身体障害、知的障害、または精神障害があるため長期にわたり日常生活、または社会生活に相当な制限を受ける者」としています。

障がい者種別人数：令和元年(2019)版厚生労働省障がい者白書より

障がいのある人の就労(働く)状況は？



障がい者の労働人口(18歳以上)の

およそ**408万人**のうち働ける人は約**2割**

福祉的就労(一般就労が困難)

福祉施設で働く人は35万人

**就労継続支援
A型事業って？**
(雇用型、最低賃金)

障がい者施設と雇用契約を結び、最低賃金を保障、社会保険なども適用されます。

**就労継続支援
B型事業って？**
(非雇用型、分配工賃)

年齢や体力などで雇用契約を結んで働くことが困難な方が、雇用契約を結ばずに働きます。作業の成果により工賃を受け取ります。

障がい者種別人数：令和元年(2019)版厚生労働省障がい者白書より

B型施設で働く障がいのある人の年収は

障がい等級2級単身者の場合

障害基礎年金(779,300円)+平均工賃(16,118円×12カ月)=972,716円

※2018年日本年金機構

可処分所得の実質中央値248万円

収入から税金・社会保険料を引いた
可処分所得を高い順から並べた時の中央の値

※実質中央値・相対的貧困線：2018年国民生活基礎調査 等価可処分所得による

相対的貧困線124万円

実質中央値の半分

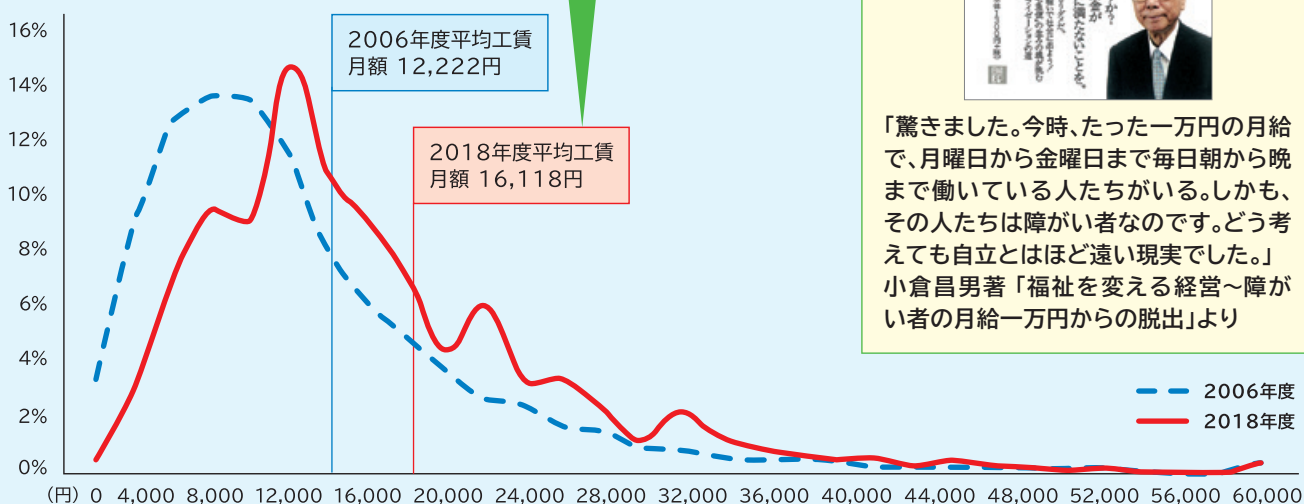
B型施設で働く多くの人の年間収入は
相対的貧困線未満です。

相対的貧困とは、余暇に支出する余裕がない状態のこと

初代小倉理事長が、障がい者施設を見学して驚いた、1995年から約20年経った現在も、障がい者の平均工賃(1ヵ月のお給料)は16,118円(2018年)と、自立できる収入にはなっていないことが分かります。

福祉施設(B型)の工賃(給料)推移(厚生労働省発表)

2006~2018年度全国11,750カ所平均工賃分布図(施設割合)



「驚きました。今時、たった一万円の月給で、月曜日から金曜日まで毎日朝から晩まで働いている人たちがいる。しかも、その人たちは障がい者なのです。どう考えても自立とはほど遠い現実でした。」
小倉昌男著「福祉を変える経営～障がい者の月給一万円からの脱出」より

ボランティアに参加しませんか

ヤマトグループ社員参加型の障がい者支援を進めます

企業も動き次第お知らせしていきます。

財団ではヤマト運輸労働組合と連携し、ヤマトグループの社会貢献の一つとして、障がい者施設と社員の共有の場を提供し、地域連携を深める事業を進めます。

例えば、障がい者施設で野菜の種まきや間引き、秋には収穫などの作業を利用者と一緒に行う参加型農業ボランティアを実施。また、地域限定で町おこしなどの企画からボランティアとして参加します。他にも障がい者施設の商品をらくるカートなど、通販サイトで販売するための勉強会の実施、障がい者施設の商品を社員のみなさんに買っていただくことで支援につながるような仕組みづくりも企画しています。

農業ボランティアは、現在、北海道(札幌)・愛知県(豊田市・滋賀県(栗東市))の障がい者施設で、5~6月の植え付けからスタートしていく予定です。農作業を障がい者と一緒に、楽しみながら参加していただきたいボランティアです。他の企画も動き次第お知らせしていきます。



実験的に行った農業ボランティア。組合員の家族も参加して、田植えや雨の中の稲刈りを体験しました。写真下は、中部社の社員食堂に収穫した野菜をお届けした障がい者施設のみなさん。

障がい者給料増額支援助成金が 決定しました

障がいのある方々の給料を増額するための新事業の立ち上げや、生産性向上に必要な設備や機器を購入する資金を助成します(400万円以上の助成先を紹介します)。

就労支援センターみらいず(鹿児島県鹿児島市) 500万円

弁当製造数増量のための改装工事および機材購入資金

- 2019年度平均給料 B型22,196円(18人)
- 2022年度目標給料 B型27,083円(20人)

恵まれた立地を活かし弁当配達を拡大

就労支援センターみらいずでは「はかり売りのお総菜屋さん」として好評を得ていましたが、店内販売の客数に限界を感じ、弁当配達を検討していました。はかり売りの店内設備であるため、お弁当の製造量を増やすには設備の改善・改装が必要です。調理場の拡張で、動線を効率化し製造速度を向上。狭くておけなかった調理台や食洗機なども設置。また下処理場と調理場を分け、衛生面も配慮します。さらに徒歩3～4分圏内にある官公庁、図書館や国立病院などへの販路拡大に取り組み、売上アップを図ります。

多機能型事業所あさひ(広島県竹原市) 470万円

テンパリングマシンおよびメランジャーの購入資金

- 2019年度平均給料 B型23,036円(31人)
- 2022年度目標給料 B型28,387円(31人)

機器導入で生産量を安定させ、地域産業活性化に貢献

あさひが自主製品事業として製造するのは、砂糖やミルクを使用せず、カカオ豆と甜菜糖、植物油脂のみでつくる健康志向の「あさひビュアチョコレート」です。現状では、生産量が安定しない、製造の体制が整わないという課題があり、地元企業との商品開発にも対応できていません。助成により、温度管理やカカオをペースト状にする機械を導入することで、生産効率は現状の8.3倍となり、十分な在庫確保できます。最新の機械は、利用者さんが全行程に関わることで、地元企業との商品開発も可能になります。

(有)くさなぎ農園(北海道帯広市) 500万円

新豚舎建設資金

- 2019年度平均給料 B型30,503円(5人)
- 2022年度目標給料 B型72,000円(10人)

新豚舎の建設で工賃アップ

くさなぎ農園は、養鶏・養豚・国産原料で自家配合飼料の製造、羊毛加工の事業を行っています。養鶏は広い鶏舎で育て安心安全な卵を、養豚は木の皮を細かくしたパークを敷き詰め、広くてストレスが少ない環境でゆっくりのびのびと元気に育てています。現在、年間100頭の豚の出荷で、取引先の希望に応えることができず、出荷量を増やす体制を創る必要に迫られています。助成金で新豚舎を建設し、繁殖豚も増やし、年間200頭の出荷を目指します。これにより700万円の収入増加を見込み、利用者さんの工賃をアップします。

就労継続支援みどりの風(滋賀県東近江市) 450万円

「フリーズドライ装置」導入資金

- 2019年度平均給料 B型33,625円(15人)
- 2022年度目標給料 B型35,100円(16人)

フリーズドライ装置導入で、利用者さんの仕事量を確保

果樹栽培(イチゴ・ブドウ)を手がけるみどりの風。課題は、果樹栽培の廃業ロスです。イチゴ観光農園では、時間制限なし・「量り売りシステム」が好評で、通年約1万人の集客実績も、コロナ禍で営業を自粛。ブドウ園は3,000坪に300本の樹がありますが、いずれも直販のため、販売に限界があります。そこで収穫漏れ、販売できなかった果実の廃業ロス対策として、味覚がそのまま保存でき、賞味期限を大幅に伸ばすことができるフリーズドライ製法に注目。フリーズドライ装置導入で、利用者の仕事を確保し、収益向上を図ります。

障害者就労継続支援事業所むぎの花(愛知県豊明市) 500万円

喫茶室リフォームと駐車場アスファルト・テラス席増設資金

- 2019年度平均給料 A型78,751円(10.9人)
- 2022年度目標給料 A型91,666円(10人)

バラ園を楽しめるテラス席で集客増

平成17年のスタート時は10㎡の小屋ではじめたむぎの花のバーカリー事業。主食に近いパン製品の提供で、現在は1日50～60人の来客があり、売上も1日5～6万円と目標を達成しています。一方、8年目を迎えるカフェは、コロナ禍の影響もあり、売上は目標の30%です。そこで、助成により現在12席の客席を20席、テラス席9席を増設。テラス席ではバラ園や田園風景が楽しめます。むぎの花のB型作業所で生産する減農薬野菜のサラダやスープなどを使ったランチメニューの開発で、お客様を取り込み、売上アップを図ります。

多機能型事業所あまみん(鹿児島県大島郡) 500万円

ジェラテリア&休憩室兼民泊の2階建て建築資金(一部)

- 2019年度平均給料 B型11,259円(27人)
- 2022年度目標給料 B型57,373円(29人)

利用者の働く環境を整え、売上アップを

あまみんでは、農家の仕事で支払われる作物をカップジェラートに加工し、島内・島外の店舗、オンラインショップで販売中です。課題は、利用者が休む場所がないこと、ECサイトでは実店舗がないことが信用面でマイナスになっています。そこであまみんの敷地内にジェラテリアと利用者休憩室兼民泊設備を建築。1階にはジェラートなどを販売するショップを、2階には作業のあとにシャワー・着替えができる休憩室、宿泊設備を備えます。これにより、利用者の出勤率のアップ、実店舗の限定販売などで売上アップを見込みます。

八女作業所(福岡県八女市)

500万円

作業場新設およびウェイトチェッカー付き金属検出器導入

- 2019年度平均給料 B型26,935円(50人)
- 2022年度目標給料 B型29,167円(50人)

GAP・HACCPにも対応、作業を断らずに売上アップ

八女作業所では、JAや近隣農家から、ハウレンソウ、シタケ、お茶のバック詰め、花卉パッケージ作業などの受託で実績を重ねています。現状は作業スペースが限られ、やりたくても作業をお断りしている状況です。助成でプレハブの作業場を建て、ウェイトチェッカー付き金属検出器を導入することで、GAP・HACCPにも対応、作業を断らずに売上の向上、工賃アップに取り組みます。

夢風(大分県日田市)

478万円

作業効率化のため厨房機器購入資金

- 2019年度平均給料 B型26,325円(15人)
- 2022年度目標給料 B型41,667円(20人)

機器の導入で弁当製造を1.6倍に

配食弁当で1日平均150個を販売する夢風。コロナ禍で、テイクアウト販売が増え、生産が間に合わなく、注文をお断りしている状況です。そこで現在使用している50食分のスチームコンベクションに120食分作れる機器を加え、プラストチャーも大きなものに変更することで、作業の効率化を図ります。助成による機器導入で、1日150個から1.6倍へ製造を増やします。

七彩の風(京都府京都市)

495万円

焼き菓子用オーブン購入資金

- 2019年度平均給料 B型20,485円(23人)
- 2022年度目標給料 B型31,746円(21人)

オーブン導入で生産力を2倍に

七彩の風では、養鶏、野菜栽培、収穫した卵や野菜を使ってクッキーやプリンなどお菓子作りに取り組んでいます。現在1台のオーブンがフル稼働しても、製造が追いつかず、販売のチャンスロスを起こしている状況です。もう一台オーブンを導入することで生産能力を2倍に。利用者さんのモチベーションアップ・作業能力の向上とあわせて、売上増・工賃アップを見込みます。

スマイルベリー B型(静岡県浜松市)

450万円

カット野菜加工施設の整備

- 2019年度平均給料 B型22,358円(10人)
- 2022年度目標給料 B型34,583円(20人)

一次加工品ブランド「グランマ」を立ち上げる

スマイルベリーでは、在宅介護、高齢者のさざみ食・ソフト食を、自然栽培の野菜を使って一次加工品を開発。従来のレトルトなどと違い、味付けは各家庭で、その人にあったものを提供できる商品、「グランマ」というブランドを立ち上げます。助成金で一次加工施設を整備。利用者さんは、野菜栽培、収穫だけでなく、加工、商品梱包、発送と多様な作業を提供し、工賃アップを目指します。

多機能型事業所アトリエ・モモ(埼玉県さいたま市)

500万円

定量分割機・急速冷凍庫・冷凍保管庫・スチームコンベクションオーブン購入

- 2019年度平均給料 B型16,672円(9人)
- 2022年度目標給料 B型25,667円(25人)

機械導入による作業の効率化で、チャンスロスを回避

アトリエ・モモでは、ムーミンバレーパークからショップで販売するお菓子の製造を受託しています。ブルドネージュ(クッキー)は、1週間に4,000粒の製造が限界。繁忙期の注文に対応できない状態です。助成金で導入する定量分割機は1日かかっていた分量を量る作業が1時間で完了。スチームコンベクションや急速冷凍機などの導入により、大量生産に対応できる体制を整えます。

吉備の里 希望(岡山県加賀郡)

500万円

レーザー加工機1機購入資金

- 2019年度平均給料 B型20,800円(40人)
- 2022年度目標給料 B型24,206円(42人)

レーザー加工機導入で売上3倍に

吉備の里 希望では、自動車部品の組立や木製キーホルダーの受注生産を行っていましたが、コロナ禍で仕事が激減。キーホルダー制作の技術を活かし、感染予防グッズの「ウイルスブロック」を開発、約2ヵ月で4,000個を販売しました。しかしレーザー加工機1台で、大量の注文に応えられません。もう1台の導入で生産量を3倍に見込み、新商品開発にも取り組みます。

障害者支援施設はまなす荘(茨城県北茨城市)

500万円

クリーニング工場改修・専用運搬車購入資金

- 2019年度平均給料 B型28,035円(16人) 生活10,616円(15人)
- 2022年度目標給料 B型33,825円(16人) 生活13,372円(13人)

大手サプライと提携するクリーニング工場へ

はまなす荘の主となるクリーニング事業は、法人内の老人ホームのリネンが中心でしたが、一般シーツから介護シーツに転換され受注が減少しています。そこで、協議を重ね大手サプライの指定協力工場となることが内定。リネンと私物クリーニングを取り扱います。助成で保健所指導に基づく工場改修を行い、専用運搬車も配備。3年後に現在より2倍の売上を見込んでいます。

リーフ荻崎(山梨県荻崎市)

452万円

空圧式スピン加締め機購入資金

- 2019年度平均給料 B型57,479円(30人)
- 2022年度目標給料 B型62,878円(30人)

機械の導入で技術の向上と工賃アップを

リーフ荻崎の主な事業は自動車部品等の加工、組立、検査等です。コロナ禍により受注量が30~40%減少、単価の引き下げも求められ、施設外就労の継続も困難な状況です。打開策として、あらゆる分野で必要とされ、部品を確実に接合する「空圧式スピン加締め機」を導入します。この機械を使う作業を発注したいという企業もあり、単価も確実にアップすることが期待できます。

2021年度ヤマト福祉財団助成金決定一覧

(助成金額合計: 1億4,201万円)



I. 障がい者給料増額支援助成金 決定一覧

単位(万円)

所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	助成額
北海道帯広市	有限会社くさな農園	新豚舎建設資金	500
北海道旭川市	ワークハウスひまわり	金属検出器の購入資金	132
北海道虻田郡洞爺湖町	デイセンターあすなろ	生地冷凍発酵機(全自動ドウコンディショナー)の購入資金	170
北海道札幌市豊平区	在宅支援センター手と手	電気蒸気殺菌庫・充填機・打栓機購入資金	275
北海道札幌市西区	ホープ	2tトラック購入資金	350
北海道上川郡清水町	旭山農志塾	玄そば選別機・大型玄そば脱皮機・電動石臼製粉機購入資金	300
山形県東田川郡庄内町	障害者多機能型施設ひまわり園	菓子保管用冷凍庫購入資金	50
福島県西白河郡矢吹町	わーくる矢吹	HACCP導入の衛生管理強化に係る厨房設備機購入資金	300
茨城県北茨城市	障害者支援施設はまなす荘	クリーニング工場改修・専用運搬車購入資金	500
埼玉県さいたま市浦和区	多機能型事業所アトリエ・モモ	定量分割機・急速冷凍庫・冷凍保管庫・スチームコンベクションオーブン購入資金	500
山梨県韮崎市	リーフ・フジ	空圧式スピニング締め機購入資金	452
山梨県甲府市	就労支援事業所いりどり	ジェラート製造機購入資金	330
山梨県甲府市	ときめきスイーツクラウド	卓上加熱攪拌機購入資金	200
新潟県糸魚川市	ワークセンターにしみ	レトルト調理機の購入付帯品購入設置に伴う設備工事資金	254
富山県中新川郡立山町	多機能型わくわくファームきらり	銀イオン含浸パネル投入と新機能遮光ネット設置資金	360
静岡県浜松市浜北区	特定非営利活動法人スマイルベリーB型	カット野菜加工施設の整備資金	450
愛知県豊明市	障害者就労継続支援事業所むぎの花	喫茶室リフォームと駐車場アスファルト・テラス席増設資金	500
滋賀県東近江市	就労継続支援みどりの風	「フリーズドライ装置」導入資金	450
京都府京都市左京区	七彩の風	焼き菓子用オーブン購入資金	495
大阪府岸和田市	第2ワークショップきしわだ	大型バン購入資金	200
兵庫県洲本市	あゆみの部屋	移動販売車の購入資金	300
兵庫県神戸市西区	アゲインファーム	精米機の購入資金	200
和歌山県日高郡みなべ町	なかよし作業所	搾汁機購入資金	230
岡山県加賀郡吉備中央町	吉備の里希望	レーザー加工機1機購入資金	500
岡山県岡山市中区	ワークハウス・わくわく!	受注配達ソフト購入資金	199
広島県竹原市	多機能型事業所あさひ	テンパリングマシン及びメラランジャーの購入資金	470
山口県山口市	ふしのエコ事業所	プレス機購入資金	200
香川県高松市	らでいっしゅ	店舗改装工事資金	270
福岡県八女市	八女作業所	作業場新設及びウェイトチェッカー付金属検出機の導入資金	500
熊本県八代市	プラスクレア	栽培ハウス用空調設備購入資金	350
大分県日田市	夢風	作業効率厨房機器購入資金	478
宮崎県延岡市	すまいる作業所	知育玩具やコースター等布製品ミシン製作への転換資金	51
鹿児島県鹿児島市	就労支援センターみらいず	弁当製造数増量の為の改装工事及び機材購入資金	500
鹿児島県大島郡龍郷町	多機能型事業所あまみん	ジェラテリア&休憩室兼民泊の2階建て建築資金(一部)	500
鹿児島県鹿屋市	自立支援センター太陽の丘	廃棄農産物の回収運搬車及び食品乾燥機・粉碎機購入資金	184
鹿児島県南九州市	知覧ふれあいの里	特別仕様自動供給押印機の購入資金	200
鹿児島県奄美市	あしたば園	パン製造機械等設備整備資金	94
沖縄県石垣市	あるまねっと	車両購入資金	200
沖縄県浦添市	就労支援事業アンジュ	電解生成器及び真空包装機・冷凍庫購入資金	300

II. 障がい者福祉助成金 決定一覧

単位(万円)

所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	申請区分	助成額
北海道札幌市中央区	NPO法人北海道若年認知症の人と家族の会	15周年記念事業誌「若年認知症の人の日常生活を支えるガイドブック」の作成	出版	50
福島県福島市	パネルの会	第21回パネルの会「震災後10年、今こそ精神障がいを持つ人の就労支援を」	講演会	30
群馬県吾妻郡中之条町	中之条町手をつなぐ育成会	活動記録(写真集)「アール・ブリュドによる地域共生社会実現に向けて」出版事業	出版	100
群馬県前橋市	一般社団法人群馬県手をつなぐ育成会	群馬県内の在宅知的障害のある本人及び保護者を対象とした困りごとや要望等に関する調査	調査	100
埼玉県川越市	特定非営利活動法人あいアイ	私たちの街を描く「バリアフリーアート(障害者アート)展」の巡回開催	文化活動	50
千葉県柏市	双極性障害ナレッジベース開発プロジェクト	双極性障害の当事者活動のメディアミックス展開～波及効果の促進と活動の経済的自立に向けて～	ボランティア活動	73
神奈川県横浜市中区	一般社団法人IKKA	私たちの街を描く「バリアフリーアート(障害者アート)展」の巡回開催	文化活動	27
神奈川県横浜市中区	はなす場こむぎ	みんな誰かの先生になる	文化活動	13
東京都文京区	NPO法人日本こどもの安全教育総合研究所	「障害のある子の安全教育と対策-防災・防犯・交通安全・事故予防-(仮題)」の出版	出版	100
東京都台東区	いずみプロジェクト	動画制作	文化活動	100
東京都町田市	CIL町田ヒューマンネットワークIL部門	第26回ピア・カウンセリング長期講座全13回	会議・講演会	16
東京都千代田区	認定NPO法人ミュージック・シェアリング	楽器指導支援プログラム2021	文化活動	40
東京都練馬区	一般社団法人ウイズタイムハウス	障害者・高齢者が主体的に活躍するみどり育成事業	ボランティア活動	81
東京都武蔵野市	一般社団法人マジェルカ	ウェルフェアトレード参加が福祉作業所に与える影響についての調査	調査	98
石川県金沢市	NPO法人あかりプロジェクト	共感しあえる仲間や先輩に出会える!～多様な経験者がファシリテーションするオンライン自助グループのしくみづくり	ボランティア活動	92
長野県佐久市	NPO法人佐久平総合リハビリセンター	災害時の障がい者の支援技術研修・避難所における障がい者支援の技術研修	会議	74
愛知県知多郡美浜町	日本福祉大学社会福祉学部 湯原研究室	コロナ禍でも可能な福祉施設での文化活動(音楽)の探求	文化活動	80
愛知県名古屋市中区	社会福祉法人ゆたか福祉会	障害者支援と外国人材育成プロセスに関する出版・理解促進事業	出版	100
愛知県名古屋市中区	重症児デイサービスmiki	まいゆめふえす2021	文化活動	43
三重県松阪市	まつさかチャレンジプレイス希望の園	ジャパン・ミュージックブリュット、2021事業	文化活動	80
滋賀県大津市	一般社団法人異才ネットワーク	生きづらさを抱えるギフテッド・2Eの会SHINE～シャイン～	ボランティア活動	20
京都府京都市北区	NPO法人Hahato・co	発達障害や学習障害に起因する引きこもり、不登校傾向の子どもたちや家族に対して、相談、助言、居場所作り	ボランティア活動	50
大阪府大阪市阿倍野区	ダウン症研究所	ヘルマンハープ教室	文化活動	84
兵庫県三木市	特定非営利活動法人そいる	あそびの広場、まなびの広場	ボランティア活動	20
奈良県生駒市	ひだまり家族会	精神障がい者の生きづらさを和らげるためのワークショップ開催	会議	20
高知県室戸市	NPO法人夢創房室戸迎鯨の杜	障がい者の健康づくりと「活動する」を支える地域コミュニティづくり	文化活動	130
熊本県熊本市南区	ブレイルフレンドリープロジェクト	リモートによる点字アート作品展・ワークショップ・グッズ販売	文化活動	26
大分県別府市	NPO法人自立支援センターおおい	「ピアカウンセリング集中講座」	会議	10

利用者さんの給料増額に向かって 夢へのかけ橋 実践塾活動報告

1月7日から再び緊急事態宣言が出され、実践塾もオンラインによる研修となりました。



第2回農福連携実践塾（オンライン研修会） 2021年1月15日

オンラインやメーリングで、塾生同士の悩みの共有を

最初の講義で林講師は、「工賃向上を事業の目標としたことで、果樹栽培に特化した事業展開で規模を拡大し工賃も上がり、ピアファームで働きたいという方が出てきた」と話します。熊田塾長は、塾生アンケートを基に「生産・製造についての課題」、「人材がいない」、「ハード面の整備」等々、課題や悩みについて、塾生同士で共有し連携して解決できるようにと提案しました。塾生からは、コロナが長引いて困っていること、これから生まれる新しい価値について、一人ひとり発表。最後に全国80事業所をブランディングの相談で回った川田アドバイザーは、『工賃をデザイン(力)で上げられるのではないかな』という思いで進めてきた六次化、商品開発の成果を、事例もあわせて紹介しました。



新堂塾オンライン勉強会（第2回） 2021年2月2日

問題点を指摘されたらすぐ変える

コロナ禍での衛生対策、仕事の受注状況など、塾生同士の情報交換の場としてオンライン勉強会を実施。どこもDMをはじめとする仕事が減っている現状が報告されました。新堂塾長から、新堂塾のアドバイザーで武蔵野千川福祉会理事長に就任した菅野先生が、改めて法人内の基本的なところに戻った学習会を行っているとお話いただきました。菅野先生は、「問題点を指摘されたらすぐに変えることが一番大切。すぐに変える、その意味を考える、その場で新しいアドバイスを受けられる機会を失わないでほしい」と話します。

今後は塾長視察を中心に、塾生施設を訪問し個別勉強会を実施する予定です。



【弁当配食サービス】 楠元塾オンライン研修会（第3回） 2021年3月18日

利用者さんのために、儲けることを躊躇しない

5ヵ月ぶりのオンライン研修を開催。近況報告では、「新しい厨房が完成し、販売数も増えている」、「コロナ禍で思うように販売数が増えていない」、「専門の調理師を入れて体制を整えている」、「HACCP取得を目指す」等、さまざまな状況が見えてきました。楠元塾長は、「みなさんは、今まで本当の営業をしてきていますか」と問いかけます。「技術者を入れてその給料を払うためにどれだけ営業するか。断られてもそこで諦めるのではなく、“味を見てください”と試食してもらう。本当に美味しかったら注文してもらえます。利用者さんの工賃アップのため、儲けることに躊躇してはいけません。」と話しました。



テーマは「人は自立して生活することで幸せを感じられる」

2020年度 障がい者の働く場 パワーアップフォーラム 福岡会場編

2月19日、2020年度最後のパワーアップフォーラム福岡会場編は当初、会場開催とオンラインのハイブリッドで開催する予定でしたが、再度の緊急事態宣言により、ヤマト福祉財団の理事長室からオンラインセミナーでの開催となりました。



講演

(社福)共生シンフォニー
常務理事 中崎 ひとみ 氏
「これからのがんばカンパニー」
～ソーシャルファームの可能性～



東京家政大学名誉教授
(社福)豊心会顧問 上野 容子 氏
「夢の実現に寄り添う」障がい者の働く機会と場を創る支援の重要性
～精神障がい者の生活・就労支援活動から～



実践報告

(一社)自然栽培パーティ全国協議会
理事長 磯部 竜太 氏
「自然栽培パーティ」は障がいのある人をどう変えたか



(社福)みなと福祉会わーくす昭和橋
副所長 岡本 靖史 氏
「名古屋招福肉まん」ができるまで



2020年度最後のパワーアップフォーラムは、
約400名の視聴者に参加いただきました

「コロナ禍で苦勞されている方も多いと思います
が、その中でも頑張っている登壇者の話をぜひ参
考にしてほしい」と、山内理事長の開会の挨拶で
スタートしました。

はじめに、クローネコヤマトの「満足創造経営」
をテーマに山内理事長の講演、きょうされんの藤
井氏による時流講座は、コロナ禍の施設の現状な
ど、最新情報を交えた講義をしていただきました。

続いて、福岡会場編の講演は共生シンフォニー
の中崎氏が滋賀県からオンラインで登壇。ソー
シャルファームの考え方に触れ「障がいのある人だ
けでなく、さまざまな就労困難者が増えている中
で、気づいた人が動き、地域を変える活動が必要
。その動きが社会のしんどさを減らしていくの
ではないか。しんどい人たちが尊厳を持って生き
られる社会になってほしい」と話します。次に東

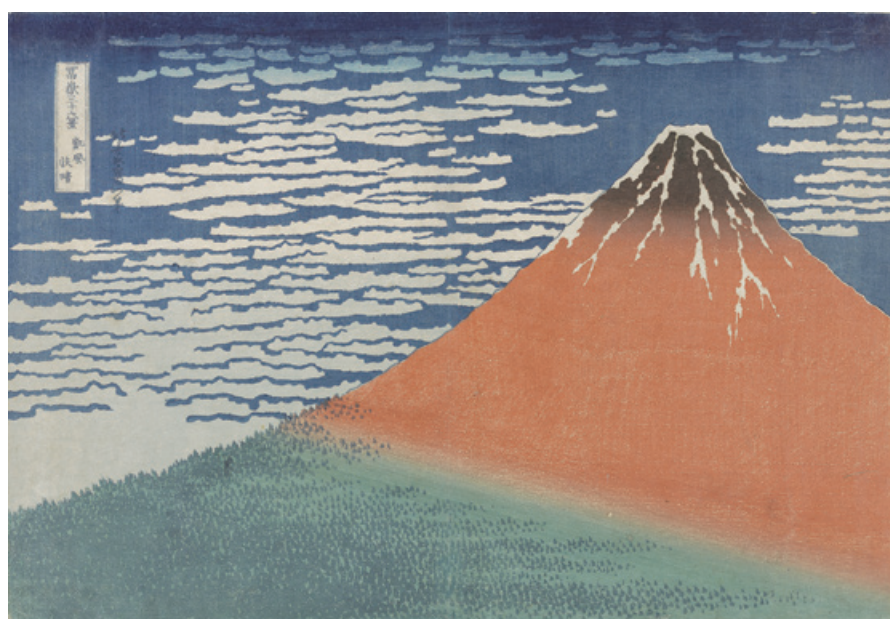
京家政大学名誉教授の上野氏が講演。精神障が
い者の支援をしている方に向けて、「一般企業就
労がすべてではありません。障がいの特性に合っ
た働き方を追求していくこと、障がいの力が見
えたとき、それをやりがいと感じて頑張ってい
い」と、支援者へエールを送りました。

実践報告では、自然栽培パーティの磯部氏が
「農福」の魅力について、「食や環境、生きていく
ことに直結し、地域社会に必要とされる可能性の
ある活動」だと話します。わーくす昭和橋の岡本
氏は、売上2000個を目標にしていた肉まんが
4万個を販売した挑戦の物語を報告しました。

2020年度パワーアップフォーラム、締めくく
りのシンポジウムでは、「幸福度」、「今まで大切
にしてきたこと」など、シンポジストの考えを1人
ずつお聞きしました。



サントリー美術館 開館60周年記念 ミネアポリス美術館 日本絵画の名品



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」 大判錦絵 江戸時代 天保元～4年(1830～33) ミネアポリス美術館
Gift of Louis W. Hill, Jr. Photo: Minneapolis Institute of Art



狩野山雪「群仙図模(旧・天祥院客殿模絵)」 四面 江戸時代 正保3年(1646) ミネアポリス美術館
The Putnam Dana McMillan Fund Photo: Minneapolis Institute of Art

DATA

開催期間 ▶ 2021年4月14日(水)～2021年6月27日(日)
※作品保護のため、会期中展示替を行います。
※会期は変更場合があります。最新情報はサントリー美術館ウェブサイトでご確認ください。
休館日 ▶ 毎週火曜日(ただし5月4日は20時まで、6月22日は18時まで開館)
開催場所 ▶ サントリー美術館
アクセス ▶ 都営地下鉄大江戸線六本木駅出口8より直結
東京メトロ日比谷線六本木駅より地下通路にて直結
東京メトロ千代田線乃木坂駅出口3より徒歩約3分

開館時間 ▶ 10:00～18:00(金・土は、10:00～20:00)
※4月28日(水)、5月2日(日)～4日(火・祝)は20時まで開館
※いずれも入館は開館の30分前まで
※開館時間に変更場合があります。最新情報はサントリー美術館ウェブサイトでご確認ください。
観覧料 ▶
(税込)

	一般	大学生・高校生	中学生以下
当日	1,500円	1,000円	無料

 ※障がい者手帳をご持参の方および介助者原則1名は無料

ミネアポリス美術館から選りすぐりの日本絵画を

世界各地の約9万点を越える美術作品を所蔵するミネアポリス美術館(Minneapolis Institute of Art 通称Mia)。1883年、アメリカ・ミネソタ州のミネアポリスに、市民や実業家が美術協会を設立したことにはじまる美術館です。Mia所蔵の日本絵画コレクションは約2500点の浮世絵をはじめ、質・量ともに高い評価を得ています。近年も美術愛好家から日本絵画・工芸が寄贈されるなど、今なお、進化し続けているコレクションといえるでしょう。本展はMiaの日本美術コレクションの中から、選りすぐりの作品を紹介します。

日本絵画史の主要ジャンルを網羅

江戸絵画を中心に日本絵画史の主要ジャンルをほぼ網羅するラインナップです。第1章は「水墨画」、戦国期～室町時代に活躍した絵師の作品を紹介。第2章は「狩野派」です。江戸幕府の御用絵師となった狩野探幽、京都に残った山雪、山楽らの作品を通じて、狩野派の軌跡を特集します。第3章は「やまと絵」。水墨を主とする「唐絵」に対して、濃厚な彩色による装飾性がやまと絵の特徴です。Miaに収蔵されている優れた屏風絵の中から、四季や物語を著したやまと絵の世界を展覧します。第4章は「琳派」。俵屋宗達ら日本絵画を代表する琳派芸術の美を特集。第5章は「浮世絵」です。Miaが誇る浮世絵コレクションから選りすぐりの名品、歌麿や写楽、北斎らの作品を紹介。第6章は「文人画(南画)」、第7章は「画壇の革新者たち」。若冲や簞白はじめ、中国や西洋の影響を受け、江戸絵画を生み出す契機となった長崎派の作品も紹介します。第8章は「幕末から近代へ」。

初の里帰り作品を含む貴重な機会です。時空を越えて一同に集まった人気絵師たちの競演をぜひご覧ください。本展はヤマト運輸株式会社が作品の輸送・展示をしています。

主催 ▶ サントリー美術館、ミネアポリス美術館、読売新聞社
協賛 ▶ 三井不動産、三井住友海上火災保険、サントリーホールディングス
問い合わせ先 ▶ TEL 03-3479-8600
美術館Webサイト <http://suntory.jp/SMA/>
※コロナ感染症の状況により、会期など変更の可能性がございます。
巡回情報 ▶ 福島県立美術館 7月8日(木)～9月5日(日)
滋賀・MIHOMUSEUM 9月18日(土)～12月12日(日)
山口県立美術館 2022年3月1日(火)～4月24日(日)
※巡回会場の会期は予定です。変更の可能性がございます。

第22回ヤマト福祉財団小倉昌男賞 募集

正賞：雨宮 淳氏作 ブロンズ像「愛」
副賞：賞金100万円
募集期間：6月1日～8月31日

ヤマト福祉財団では、障がい者の仕事づくりや雇用の創出、拡大、労働条件の改善などを積極的に推し進め、障がい者に働く喜びと生きがいをもたらしている人の中から毎年2名の方に『ヤマト福祉財団小倉昌男賞』をお贈りしています。「この人をぜひ」と思われる方のご推薦をお願いいたします。詳しくはホームページをご覧ください。また、QRコードより、第21回ヤマト福祉財団小倉昌男賞贈呈式の様子がご覧いただけます。



ヤマト福祉財団 検索

